岩手県金融広報委員会 平成 22 年度活動実施状況

平成 22 年度は「正しい知識を正しく伝える」を活動テーマとし、一般向けには金融知識のより幅広い層への普及に向けた工夫を行うこと、学校向けには金融・金銭教育実践に向けての対応を行うことを重点施策として、県、市町村及び関係諸団体と連携しつつ、以下の活動を行った。

I. 実践活動

1. 金融広報アドバイザー関係

① 金融広報アドバイザーの委嘱

- 山田 静子氏 (22. 4. 1～25. 3. 31、再委嘱)
- 箱崎 愛郎氏 (22. 4. 1～25. 3. 31、再委嘱)
- 高田 千枝子氏 (22. 4. 1～25. 3. 31、再委嘱)

② 一般向け講座・講習会等への金融広報アドバイザーの派遣 (21 回)

時 期	講 演 内 容	参加者層:人数 (場 所)
5 月 18 日	相続について	60～80 代:55 名 (盛岡市)
5 月 20 日	相続について	60～80 代:45 名 (盛岡市)
6 月 7 日	他人ごとではない消費者問題	婦人学級会員、 20 代以上:90 名 (花巻市)
6 月 21 日	多重債務問題と解決方法について	労働者福祉協議会加 盟会員ほか、40 名 (大船渡市)
6 月 25 日	悪質商法、クーリングオフおよび多重債務について	30 代以上:100 名 (山田町)
7 月 15 日	老人のくらしとお金 老後の生活設計	高齢者学級学生、 50 代以上:40 名 (一関市)
8 月 25 日	相続について	60～80 代:30 名 (盛岡市)
8 月 26 日	相続について	60～80 代:60 名 (盛岡市)
9 月 26 日	多重債務について	新日本宗教団体連合会 会員、20～60 代:250 名 (花巻市)
10 月 1 日	多重債務について	町税等滞納整理推進 委員会幹事:20 名 (大槌町)

時 期	講 演 内 容	参加者層:人数 (場 所)
10月9日	退職後の資産管理について	市町村職員互助会会員 および配偶者、 50代以上:74名 (雫石町)
12月9日	金融広報委員会とは 最近の消費者金融の動向と住民生活への影響等	福祉施設・行政職員、 20代以上:20名 (釜石市)
12月15日	光熱・暖房費の節約の実際	家計費検討グループ会 員、50代以上:8名 (奥州市)
1月22日	家計費の節減の実際について	JA 会員、 50代以上:10名 (一関市)
1月28日	光熱暖房費の節約の実際	農村生活研究グループ 連絡協議会会員、 50代以上:17名 (奥州市)
2月17日	相続について	30名 (滝沢村)
2月19日	光熱費節約の実際	50代以上:8名 (花泉町)
2月21日	光熱費節減の実際	生活研究グループ役員、 50代以上:26名 (一関市)
2月25日	光熱費、暖房費節減の実際について	生活研究グループ連絡 協議会会員、 50代以上:18名 (大船渡市)
2月28日	家計費の節減について	生活研究グループ会員、 50代以上:14名 (北上市)
3月11日	光熱費、暖房費の節約の実際	生活研究グループ会員、 50代以上:13名 (一関市)

③ 金融広報アドバイザー等協議会の開催 (5月17日、於：盛岡市)

主 催：岩手県、岩手県金融広報委員会

目 的：実践活動の担い手が集まり、平成22年度活動方針等の確認、最近の活動状況及び今後の予定の相互報告、活動上の悩みや障害となっていること等についての意見交換を通して、今後の実践活動の充実と円滑化を図る。

参加者：金融広報アドバイザー、金融・金銭教育研究校教諭、金融学習グループ代表者、金融学習グループの市町村担当者、岩手県教育委員会事務局学校教育室 義務教育担当指導主事・高校教育担当主任指導主事等 23名

講 演：「金融広報中央委員会 22年度活動方針」

(講師：金融広報中央委員会事務局 企画役 国光 幸人氏)

- ④ 東北6県金融学習グループリーダー・金融広報アドバイザー研修会の主催(11月17日、
於：盛岡市)

目的：〈1〉金融・金銭教育活動の相手となる子供達や学校のニーズを掴み、
これまでの活動がニーズにできていたのか、否か(できていなかった
場合には何が障害となっていたのか)を振り返る

〈2〉研修参加者が各自の立場(学習グループリーダー、アドバイザー、
事務局員)で、子供達や学校のニーズに応じていく(もしくは金融・
金銭教育活動をさらに活発に実践する)ための手がかりを探る

参加者：東北6県の金融学習グループリーダー、金融広報アドバイザー、事務局
関係者等29名

講演：『生きる力』を育む金融教育を進めるために」
(講師：雫石町立御明神小学校教諭 佐藤 賢治氏)

- ⑤ 金融広報アドバイザー研修会<全国版>への参加(10月12～13日、於：東京都)
主催：金融広報中央委員会

目的：金融広報活動全般に亘る講義および意見交換等を通じて、各地におけ
る金融広報アドバイザーの機能度向上を図る。

参加者：全国各地の金融広報アドバイザー 56名
(当委員会からの参加者…戸田 金融広報アドバイザー)

2. 金融学習グループ関係

学習活動への金融広報アドバイザー派遣(講話 延べ6回)

金融学習グループ	派遣日
むらさきしきぶの会(盛岡市) <設定期間：21.12.1～22.11.30>	5月11日、6月15日、7月14日、9月10日、 10月27日、11月24日

3. 金融・金銭教育関係

- ① 金融・金銭教育研究校の委嘱

<金融教育研究校>

- ・岩手県立沼宮内高等学校(21.4.1～23.3.31)
- ・盛岡市立米内中学校(21.4.1～23.3.31)
- ・盛岡市立見前南中学校(21.4.1～23.3.31)
- ・洋野町立大野第二中学校(22.4.1～23.3.31)

<金銭教育研究校>

- ・盛岡市立下橋中学校(22.4.1～24.3.31)

② 金融・金銭教育研究校への金融広報アドバイザー派遣 (延べ8回)

金融・金銭教育研究校	時期	講演内容	参加者
洋野町立 大野第二中学校	7月12日	一人暮らしの生活と職業	中学校全校生徒 43名
岩手県立 沼宮内高等学校	1月25日	高校3年生向けのライフプランについて	高校3年生 69名
盛岡市立 下橋中学校	2月8日	お金と未来の話	中学1年生および 教員 79名
盛岡市立 下橋中学校	2月8日	仕事と収入について	中学2年生および 教員 88名
盛岡市立 下橋中学校	2月8日	消費者トラブルって何?	中学3年生および 教員 83名
盛岡市立 見前南中学校	2月16日 (2回)	ライフプランと金融について	中学3年生 計127名
岩手県立 沼宮内高等学校	2月25日	高校1年生向けのライフプランについて	高校1年生 76名

③ 金融・金銭教育研究校以外へのアドバイザー派遣 (延べ39回)

派遣依頼先	時期	講演内容	参加者
岩手県立 福岡工業高校	5月14日	「おこづかい」など金銭にまつわる 知識や情報について	高校全校生徒および 保護者 280名
盛岡市立 城南小学校	6月21日	こづかいの使い方について考えよう	小学4年生 84名
〃	6月23日 (3回)	上手なお金の使い方	小学4年生 計84名
〃	6月24日	こづかいゲームをしよう	小学4年生 28名
〃	6月25日 (2回)	こづかいゲームをしよう	小学4年生 計56名
〃	6月28日	これからのお金の使い方	小学4年生 84名
水沢第一高等学校	7月9日	生活設計および消費生活について	高校3年生 70名
北上市立 和賀東小学校	7月20日	持ち物を大切にすることについて	小学2年生 67名
八幡平市 田頭公民館	7月27日	こづかいゲーム	小学生 40名
岩手県立 県民生活センター	8月6日 (2回)	親子で学ぶ金銭教育(こづかいゲーム)	小学生および保護者 計60名
盛岡市立 羽場小学校PTA	9月29日	金銭教育について	小学4年生および 保護者 80名
盛岡市立 杜陵小学校PTA	10月18日	お金の使い方やおこづかい等について	小学3年生および 保護者 71名
盛岡市立 城南小学校	11月9日	こづかいの使い方について考えよう	小学5年生 86名
〃	11月10日 (3回)	上手なお金の使い方	小学5年生 計86名

派遣依頼先	時 期	講 演 内 容	参 加 者
北上市立 東陵中学校	11月12日	PTA向けの金銭教育(小遣いの与え方等)	保護者および教員 30名
盛岡市立 城南小学校	11月16日 (2回)	こづかいゲームをしよう	小学5年生 計57名
〃	11月19日	こづかいゲームをしよう	小学5年生 29名
〃	11月19日	これからのお金の使い方	小学5年生 計86名
盛岡市立 飯岡小学校	11月30日	小学生向け金銭教育 － こづかいを上手に使う － 上手なお金の使い方	小学5、6年生 38名
盛岡市立 城南小学校	12月16日 (2回)	消費者トラブル防止法について考える	小学6年生 計54名
〃	12月17日	消費者トラブル防止法について考える	小学6年生 27名
〃	1月18日 (3回)	お金と未来について①	小学6年生 計81名
〃	1月19日 (3回)	お金と未来について②	小学6年生 計81名
紫波町立 古館小学校	1月28日 (3回)	お金との付き合い方(こづかいから学ぶ自立と自律など)について 税金の必要性について	小学6年生 計102名
北上市 教育委員会	2月12日	金銭教育について － お金の使い方や扱い方、こづかい帳の書き方など － ゲームを楽しみながら金銭管理力アップを図る	小学4～6年生 12名

④ 高校生を対象とした金融経済セミナーの開催

主 催：岩手県、岩手県金融広報委員会、岩手県教育委員会

目 的：若年層において、インターネットトラブルを始めとする消費者被害や消費者金融等による多重債務者が増加していることから、高校生を対象にした金融経済セミナーを開催して、商取引、金融等に関する基礎知識の啓発を行い、多重債務や悪質商法等の消費者トラブルの未然防止を図る。

開 催 校	時 期	対象学年および受講生徒数
岩手県立軽米高等学校	11月4日	高校3年生 69名
岩手県立釜石商工高等学校	11月11日	高校3年生 185名
岩手県立岩泉高等学校田野畑校	11月26日	高校3年生 2名
岩手県立大船渡東高等学校	11月26日	高校3年生 184名
岩手県立葛巻高等学校	12月1日	高校3年生 57名
岩手県立宮古水産高等学校	12月3日	高校3年生 116名
岩手県立住田高等学校	12月3日	高校3年生 63名
岩手県立一関第二高等学校	12月6日	高校3年生 231名

開催校	時期	対象学年および受講生徒数
岩手県立雫石高等学校	12月7日	高校3年生 65名
岩手県立平舘高等学校	12月10日	高校3年生 102名
岩手県立花北青雲高等学校	12月14日	高校3年生 152名
岩手県立水沢農業高等学校	12月16日	高校3年生 91名
岩手県立遠野高等学校	1月13日	高校3年生 48名
岩手県立遠野緑峰高等学校	1月20日	高校3年生 73名
岩手県立前沢高等学校	1月20日	高校3年生 105名
岩手県立盛岡商業高等学校	1月21日 (2回)	高校3年生 計242名
岩手県立福岡高等学校	1月24日	高校3年生 40名
岩手県立久慈東高等学校	1月24日	高校3年生 200名
岩手県立種市高等学校	1月31日	高校3年生 93名
岩手県立高田高等学校	2月2日	高校3年生 40名
岩手県立千厩高等学校	2月4日	高校3年生 180名
岩手県立花泉高等学校	2月10日	高校3年生 66名
岩手県立水沢工業高等学校	2月14日	高校3年生 144名
岩手県立岩泉高等学校	2月14日	高校3年生 74名
岩手県立山田高等学校	2月16日	高校3年生 78名
岩手県立大東高等学校	2月16日	高校3年生 82名
岩手県立花巻南高等学校	2月16日	高校3年生 170名
岩手県立大槌高等学校	2月17日	高校3年生 116名
岩手県立花巻農業高等学校	2月22日	高校3年生 117名
岩手県立宮古北高等学校	2月23日	高校3年生 51名

＜開催校数 計30校、受講生徒数 計3,236名＞

⑤ 金融・金銭教育関係授業への講師派遣紹介パンフレットの配付（5月）

目的：岩手県の金融広報アドバイザー考案による授業のプログラム例を盛り込んだパンフレットを配付することで、県内の小・中学校および高等学校における金融・金銭教育関係授業の実践をサポートする。

配付先：小・中学校、高等学校、市町村教育委員会および教育事務所 約720先

⑥ 作文・小論文コンクール（主催はいずれも金融広報中央委員会）

- ・ 第43回中学生向け「おかねの作文」コンクール募集
(9月20日募集締切、12月10日発表)
- ・ 第8回高校生向け「金融と経済の明日」小論文コンクール募集
(9月20日募集締切、12月10日発表)
- ・ 第7回教師向け「金融教育を考える」小論文コンクール募集
(9月30日募集締切、12月20日発表)

II. 一般広報活動

- ① 定期刊行物、各種資料、教材の配布
- ② 岩手県金融広報委員会活動紹介頒布品（リーフレット、メモ帳、クリアファイル）の配付

III. 連携活動

(1) 諸団体との連携

- ① 岩手県社会教育連絡協議会が主催する「第58回岩手県公民館大会（二戸大会）」（7月15日～16日、於：二戸市）の後援
- ② 日本FP協会岩手支部が主催する「FPフォーラム in 岩手」（11月13日、於：盛岡市）の後援

(2) 金融広報中央委員会等との連携

- 金融広報委員会事務局長・責任者会議への参加（11月24日、於：東京都）
主 催：金融広報中央委員会
目 的：金融広報中央委員会の活動方針や重点項目に関する共通理解を深めるとともに、現状の問題点や課題等についての意見交換や討議を行い、委員会運営の参考とする。
参加者：金融広報委員会事務局、日本銀行、都道府県、財務局 計137名
— 当委員会からの参加者…事務局（日本銀行盛岡事務所）、県民生活センター、盛岡財務事務所から各1名

IV. 委員会会議

- ・委員会総会（4月26日、於：盛岡市）の開催
平成21年度活動実施状況の報告、平成21年度収支決算、平成22年度活動方針案及び平成22年度収支予算案の承認

以 上